

# 小児がん診療施設 情報公開

医療機関名	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院		
住 所	千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1		
施設ホームページ	<a href="https://www.nirs.qst.go.jp/hospital/">https://www.nirs.qst.go.jp/hospital/</a>		
<<患者相談窓口>>			
名 称	QST病院 地域連携室 電話相談		
電 話	043-284-8852		
F A X			
メールアドレス			
対応可能時間	平日 9:00~11:30、12:30~15:00		
<<医療機関相談窓口>>			
名 称	QST病院 病院事務課		
電 話	043-206-3306		
F A X	043-206-3345		
メールアドレス	jimuka@qst.go.jp		
対応可能時間	平日 9:00~11:30、12:30~16:00		

## 施設の特徴(アピール)

がんの放射線診療に特化した放射線診療単科病院です。  
重粒子線がん治療研究のための重粒子線治療専用装置「HIMAC」を備え、1994年より臨床研究と治療を実施。  
世界で最も豊富な治療実績があります。さらに重粒子線がん治療の将来の適応拡大を目指し、様々なプロトコルを用意しています。  
現在、保険診療や先進医療の適応となっている疾患以外の患者さんにも対応できるようにしています。

## 診療受け入れ容量

小児がん病床(対応可能数)	
集中治療床(うちPICU、HCU)	
外来化学療法(◎実績あり、○可能)	
休日・夜間救急対応(◎院外患者対応可能(条件記載)、○院内患者のみ対応可能)	○
フォローアップ外来(◎フォローアップ専門外来、○そのほかの外来)(外来日)	◎
小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科	

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2021			2020			2019		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性リンパ性白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性骨髄性白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まれな白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCML	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCMLを除く	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のリンパ増殖性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(HLH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(LCH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の組織球症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Down症TAM登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固形腫瘍	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	4~6	1~3	1~3	4~6
神経芽腫瘍群	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	0	0	0
網膜芽腫	0	0	0	1~3	0	1~3	0	0	0
腎腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨腫瘍	0	1~3	1~3	0	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3
軟部腫瘍	1~3	0	1~3	0	0	0	0	0	0
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳脊髄腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の固形腫瘍	0	0	0	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
その他の固形腫瘍(具体名)	眼窩悪性腫瘍 涙腺癌 耳下腺癌								

※再発症例は、対象年において他施設から紹介された再発がんの症例です(自施設での再発症例は含みません)。

診療実績(入院数)	2021	2020	2019	2018	2017	2016
小児がん入院患者延べ数	2	5	7	4	7	13
小児がん入院患者在院延べ日数	40	78	46	74	98	239
全入院患者延べ数(施設全体)	508	684	1,037	1,035	1,044	1,028
全入院患者入院在院延べ日数(施設全体)	7,892	10,102	12,823	12,808	12,396	12,789

●小児がん診療施設の情報公開では、入院患者延べ数=患者入院延べ回数として集計を行っております。  
(がん患者さんが3回入院されれば3人となります)

診療実績(造血幹細胞移植)	2021	2020	2019	2018	2017	2016
同種造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
同胞間造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
家族間ハプロ造血細胞移植※	0	0	0	0	0	0
非血縁造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
臍帯血移植	0	0	0	0	0	0
自家造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

※HLA完全一致または一座不一致の親子間移植も含みます

死亡患者数	2021	2020	2019	2018	2017	2016
血液腫瘍	0	0	0	0	0	0
固形腫瘍	0	0	0	0	0	0
脳・脊髄腫瘍	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

集学的治療実施体制(10例/年以上:◎、可能:○)	化学療法	手術	放射線
固形腫瘍(下記以外)			
脳腫瘍			
眼・眼窩腫瘍			
骨・軟部腫瘍			

療養環境・支援	
面会時間	※現在コロナウイルスのため不可 平日午後1時から午後7時まで/土・日曜日・祝日午前10時から午後7時まで
面会可能者	
集中治療室面会時間	
面会可能者	
付き添い(○不要、◎希望で24時間可能、□24時間必要、△夜間必要、▽その他(具体的に記載))	▽ 要相談
入院可能年齢	

相談窓口	
患者家族宿泊施設(◎敷地内、○近隣)	
代表的施設名	
患者同胞短時間預かり施設(◎院内、○近隣)	
患者家族休憩室(◎予約不要、○予約要)	
院内患者家族会(名称、連絡先)	

院内学級(◎:分教室、○:訪問教育)	○
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
高校生への教育支援体制(◎:分教室、○:訪問教育)	
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	
就学前児童保育	

診療機能	
病理組織診断	
放射線治療	○
臓器移植(対象臓器)	
非血縁同種骨髄移植認定施設	
非血縁同種末梢血幹細胞移植認定施設	
臍帯血移植認定施設	
輸血・細胞療法センター	
集中治療部(◎小児専門もあり、○あり)	
長期フォローアップ(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	◎
移行医療(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	
緩和ケア(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	
思春期・青年期がん診療(高校生以上)(◎実績あり、○可能)(対応可能年齢)(特色)	○

専門資格保持者(小児がん診療に実際に携わる人員)		
日本小児血液・がん学会 専門医		日本看護協会 緩和ケア認定看護師
日本小児血液・がん学会 指導医		日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師
日本小児血液・がん学会 暫定指導医		日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師
日本小児血液・がん学会 認定外科医		日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師
日本小児外科学会 専門医		日本小児がん看護学会 小児がん看護師
日本小児外科学会 指導医		日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師
日本小児科学会小児科 専門医		日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
日本小児神経学会 小児神経専門医		日本医療薬学会 がん専門薬剤師
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医		日本臨床細胞学会 細胞検査士
日本病理学会 病理専門医	○	日本医学放射線学会 医学物理士
日本血液学会 専門医		日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医		日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士
がん治療認定医機構 がん治療認定医	○	日本病態栄養学会/日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士
日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会 放射線治療専門医	○	日本人類遺伝学会/日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー
日本医学放射線学会 放射線診断専門医	○	日本遺伝性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー
日本緩和医療学会 緩和医療専門医		チャイルドライフスペシャリスト
日本緩和医療学会 緩和医療認定医		ホスピタルプレイススペシャリスト
日本看護協会 がん看護専門看護師		子ども療養支援士
日本看護協会 小児看護専門看護師		保育士
日本看護協会 地域看護専門看護師		ソーシャルワーカー
日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師		

臨床研究(小児がん診療に関する試験数)	
臨床研究支援センター	
参加臨床試験数(治験を除く)	0
治験実施(有○)	
治験実施内容	